

くまもと県南フードバレー推進協議会

令和8年度（2026年度）理事会

○日 時 令和8年（2026年）5月25日（月）15：30～17：00

○場 所 ホテル サン人吉（人吉市上青井町166）

～ 次第 ～

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) 第1号議案	役員選任について	}	資料1
(2) 第2号議案	企画・運営委員の指定について		
(3) 第3号議案	令和7年度 事業報告について	}	資料2
(4) 第4号議案	令和7年度 収支決算報告について		
(5) 第5号議案	令和8年度 事業計画（案）について	}	資料3
(6) 第6号議案	令和8年度 収支予算（案）について		
(7) 意見交換			

4 閉会

くまもと県南フードバレー推進協議会 役員名簿（案）

役職	団体名	職名	氏名
会 長	熊本県	副知事	竹内 信義
副会長	八代市	市 長	小野 泰輔
副会長	人吉市	市 長	松岡 隼人
副会長	水俣市	市 長	高岡 利治
理 事	氷川町	町 長	藤本 一臣
理 事	芦北町	町 長	竹崎 一成
理 事	津奈木町	町 長	山田 豊隆
理 事	錦町	町 長	森本 完一
理 事	多良木町	町 長	石井 淳一
理 事	湯前町	町 長	長谷 和人
理 事	水上村	村 長	中嶽 弘継
理 事	相良村	村 長	吉松 啓一
理 事	五木村	村 長	木下 丈二
理 事	山江村	村 長	内山 慶治
理 事	球磨村	村 長	大岩 禎一
理 事	あさぎり町	町 長	北口 俊朗
監 事	株式会社 日本政策金融公庫 熊本支店	支店長兼 農林水産事業統轄	中澤 勝美
監 事	株式会社 肥後銀行 八代ブロック	八代ブロック長 兼八代支店長	崎山 誠治

○役員構成（会則第 9 条）

会長 1 名：副会長 3 名以内：理事 16 名（会長・副会長を含む）：監事 2 名

○役員任期（会則第 11 条）

役員任期は 2 年

【第2号議案】

くまもと県南フードバレー推進協議会
企画・運営委員（案）

団体名	所属名	職名	氏名
熊本県	農林水産部 食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課	課長	渡辺 陽司
八代市	農林水産部 フードバレー推進課	課長	栄 圭介
人吉市	経済部 農業振興課	課長	村上 晃勇
水俣市	産業建設部 農林水産課	課長	緒方 卓也
氷川町	企画財政課	課長	國岡 信吾
芦北町	商工観光課	課長	梶 浩之
津奈木町	政策企画課	課長	山下 浩一
錦町	企画観光課	課長	中村 裕二
多良木町	産業振興課	課長	水田 寛明
湯前町	企画観光課	課長	伊藤 賢一郎
水上村	地方創生推進課	課長	那須 裕平
相良村	企画商工課	課長	佐竹 淑子
五木村	産業振興課	課長	土肥 博司
山江村	企画調整課	課長	西 義晴
球磨村	復興推進課	課長	蔵谷 健
あさぎり町	商工観光課	課長	沖松 勝彦



くまもと県南フードバレー

「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョン及び くまもと県南フードバレー構想について

令和8年5月

くまもと県南フードバレー推進協議会

熊本県の「食」を取り巻く現状

- 本県は、変化に富んだ地形や気候、豊富な水資源を活かした多様な食資源(農林畜水産物)が存在。また、各地域で育まれた郷土料理や県産酒などの加工品も豊富
- 他方、本県の農業産出額が全国トップクラスであることを知らない県民は6割超。食のイメージ等に関する都道府県ランキング調査では苦戦

(熊本の農林畜水産業)

- ・ 農業産出額全国6位／生産農業所得全国3位
- ・ バランスよく多彩な営農(野菜、畜産、果実等)
- ・ 農林畜水産物の輸出額過去最高を更新

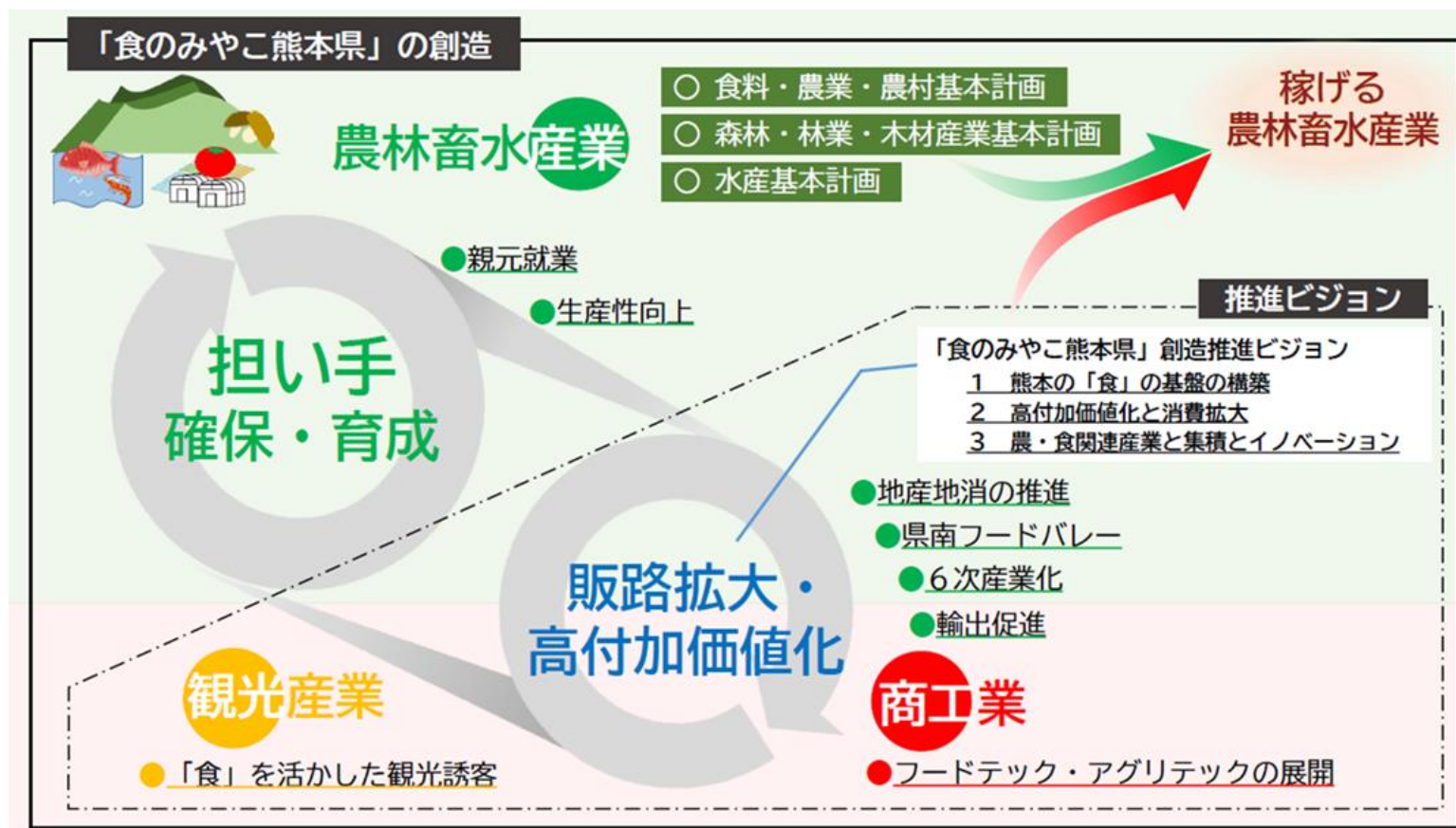
(各種調査結果)

- ・ 熊本県の農業産出額は全国トップクラス(5位)であることを知っていますか？ (令和7年 県民に対する調査結果)
はい36.8% いいえ63.2%
- ・ 食のイメージがある都道府県ランキング 24位
(食のイメージ調査2025)
- ・ 食事がおいしい都道府県ランキング 11位
(地域ブランド調査2025)



「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョンの策定

- 県は、令和7年7月に「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョンを策定
- 農林畜水産業の担い手確保・育成や生産性向上に取り組むとともに、高付加価値化や販路拡大の施策を推進し、稼げる農林畜水産業を実現する好循環を創出



くまもと県南フードバレー構想

- 県南フードバレーとは、県南地域の豊富な農林畜水産物を活かし、6次産業化による高付加価値化を図るとともに、食関連の研究開発機関や企業等を集積させることにより、地域活性化を目指す取組み。
- 平成25年にフードバレー構想を策定し、10年以上にわたり、地域内生産物の高付加価値化、食品関連企業の立地・投資の促進、販路拡大、人材育成やネットワークの構築等の成果を上げてきた。
- 「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョンにおいて、県南フードバレー構想の推進を重点項目に位置付け。県内において先駆けて「食」の取組みを展開してきた県南地域が、「食のみやこ熊本」の実現に向け取組みを更に推進し、県全体をけん引していく。

【食のみやこ熊本の目指す姿】

熊本の食で世界を魅了し、農・食関連産業が活性化しながら県民が豊かになる

【県南フードバレー】

<4つの方向性>

6次産業化・農商工連携
による地域内生産物等
の高付加価値化

地域内生産物等を
活かす企業・研究
開発機能等の集積

アジアとの貿易
拡大・首都圏等への
販路拡大

人材育成の強化・
推進体制の構築

くまもと県南フードバレー構想「ステージ2」とは

- 平成25年にくまもと県南フードバレー構想を策定し、商品の高付加価値化や新たな販路開拓、食関連企業の立地など一定の成果が出ている。
- 県南地域のポテンシャルを最大限に引き出していくためには、更なる施策の展開を図り、より一層の地域活性化につなげていく必要がある。
- これまでに蓄積した情報やノウハウを生かし、構想の更なる推進に向け、令和7年度から推進している「くまもと県南フードバレー構想ステージ2」として取組みを発展させる。

「くまもと県南フードバレーステージ2」

期間:令和7～9年度

目指す姿:「稼げる農林畜水産業」を目指す人・モノ・企業が溢れ、活力ある地域

重点方針1 県南の食文化を活かした商品開発等で農産物や酒等の高付加価値化

こだわりが詰まった商品の良さをしっかりPRするとともに、顧客に選ばれ満足してもらえる商品開発

重点方針2 食品関連企業の育成と誘致

事業者のさらなる成長と、食と農による地域振興

「くまもと県南フードバレー推進協議会」の役割



協議会では、協議会会則第8条に基づき、「ネットワークの形成」、「人材の育成」、「情報の共有・発信」に係る事業を実施しています。



くまもと県南フードバレー

第3号議案 令和7年度 事業報告について
第4号議案 令和7年度 収支決算報告について

令和8年5月

くまもと県南フードバレー推進協議会

令和7年度 フードバレー関連の取組み

協議会

資料2

■くまもと県南フードバレー「ステージ2」の取組み

重点方針1

県南の食文化を活かした商品開発等で
農産物や酒等の高付加価値化

- ・くまもと県南フードグランプリ&産地見学会の開催
- ・選ばれる商品の開発支援
- ・インバウンド向け県南ガストロノミーツアー

重点方針2

食品関連企業の育成と誘致

- ・フードバレー経営塾の開催
- ・事業者（スター事業者）への支援

■協議会会則第8条に基づいた取組み

①ネットワークの形成

- ・会員のチャレンジ支援
- ・大規模展示商談会への出展支援
- ・大都市圏における販路拡大支援
- ・ECサイトにおける県南産品の全国販売展開
- ・台湾の百貨店での販売会の実施
- ・ネットワーク促進交流会の開催
- ・県南地域の経済団体との意見交換会の開催

②人材の育成

- ・会員向けセミナーの開催
- ・専門学科のある高校と連携した商品開発
- ・市町村活動の支援

③情報の共有・発信

- ・ホームページやメルマガ、SNSによる情報発信

県・市町村

参考資料2

■くまもと県南フードバレー構想推進に向けた4つの方向性に基づいた取組み

(1)6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

- ・商品開発支援【八代市】
- ・事業者の施設整備・設備導入支援【県】
- ・県立大学と連携したメニュー開発【相良村】

(2)地域内生産物等を活かす企業・研究開発機能等の集積

- ・企業の農業参入の推進【五木村】

(3)アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

●消費者向けフェア・イベント等の実施

- ・アジア圏 : 【八代市】
- ・都市圏 : 【八代市・**芦北町**・**多良木町**・水上村・**五木村**・**球磨村**・**あさぎり町**】
- ・地域内 : 【八代市・**人吉市**・**水俣市**・**氷川町**・芦北町・**津奈木町**・**錦町**・**湯前町**・水上村・**相良村**・**山江村**・**あさぎり町**】

※赤字は、協議会の「市町村活動支援」を活用

●バイヤー向け商談会等の実施

- ・商談会、産地視察の実施【八代市】

(4)人材育成の強化・推進体制の構築

- ・農林水産業体験事業の推進【八代市】

令和7年度の事業について

■令和7年度は、くまもと県南フードバレー構想「ステージ2」元年として、県南の食文化を活かした商品開発等で農林畜水産物等の高付加価値化を図るとともに、食品関連企業の育成を行った。

■商品の高付加価値化のため、くまもと県南フードグランプリ、選ばれる商品開発支援等を行い、既存の加工品のブラッシュアップを支援した。

また、インバウンド客を対象に、県南地域を巡るガストロノミーツアーを実施し、県南農林畜水産物の魅力を発信した。

■企業の育成については、5期目を迎えたくまもと県南フードバレー経営塾で、質の高い実践的な内容を学ぶとともに、塾生同士及び1～4期生とのネットワークづくりを促進した。

くまもと県南フードバレー 「ステージ 2」の取組み

くまもと県南フードバレー「ステージ2」の取組み

重点方針1

県南の食文化を活かした商品開発等で農産物や酒等の高付加価値化

◆くまもと県南フードグランプリ&産地見学会の開催

- 協議会会員がこだわりを持って作った加工食品等の地域産品の付加価値を高め、商品の認知度向上と販路開拓を目指し、「くまもと県南フードグランプリ」を開催（出品数：53点（41事業者））
県庁における表彰式及び販売会、空港や物産館等におけるテスト販売を実施。

【グランプリ・会長賞】

- くまもと油揚げかりふわ
（有）五木屋本舗

【銀賞】

- 生姜が主役でしょうが
（株）トーヨー

【銅賞】

- 足赤海老の味噌漬け
（漁師ばい 平国丸）

【審査員特別賞】

- 球磨の黒豚まん
（株）一休本舗

- にんにく胡椒
（山之一）

- 純粋黒糖
（NPO法人ばらん家）

- 青パパイヤスムージー
キウイ&柑橘
（ゆいやわす）

- ウィークエンドシトロン
（お菓子の国あん・さんく）

- 黒胡椒ドレッシング
（（一社）たらぎまちづくり
推進機構）

- モンヴェールポークジャー
キー3兄弟（有）農山畜産

- デコポングミ
（JAあしきた）



- 審査員を務めた首都圏バイヤー等による産地視察を実施。



【視察先】

- FUJIMOTO農園
- 五木屋本舗
- 子守唄の里五木
- たらぎまちづくり推進機構
- 人吉温泉物産館
- えび庵
- ばらん家
- 平国丸

くまもと県南フードバレー「ステージ2」の取組み

重点方針1 県南の食文化を活かした商品開発等で農産物や酒等の高付加価値化

◆選ばれる商品の開発支援

- レシピ開発やパッケージデザイン、鮮度保持剤等に関する専門家を招聘し、新商品の開発等に関するセミナーを計5回実施し、延べ130名が参加。



タイトル	実施日	講師	実施内容
第1回 ブランディングセミナー	R7.7.29	QSHU HUB 店長 古田 和子 氏	・商品開発を行う際のブランディング・ストーリーづくり ・ワークショップ
第2回 ブランディングセミナー	R7.8.22	QSHU HUB 店長 古田 和子 氏	・熊本空港QSHU HUB の見学
レシピ開発セミナー	R7.9.17	メゾン・ド・キタガワ 北川 博喜 氏 HARUlab. 相藤 春陽 氏	・商品開発を行うためのレシピ開発 ・柑橘を使用した基本の加工についての実演
鮮度保持剤セミナー	R8.1.29	(株) 鳥繁産業 河野 広則 氏	・鮮度保持剤の基礎知識について ・個別相談会
パッケージデザイン セミナー	R8.3.12	(株) アンドローカルズ 高倉 朋子 氏 福島 里都 氏	・選ばれるパッケージについて ・個別相談会

くまもと県南フードバレー「ステージ2」の取組み

重点方針1

県南の食文化を活かした商品開発等で農産物や酒等の高付加価値化

◆インバウンド向け県南ガストロノミーツアー

- インバウンド（大型クルーズ船乗客）等を対象に、ほ場での収穫体験や県産酒の酒蔵巡り、郷土料理の提供等を行う「県南ガストロノミーツアー」を3コース各1回実施。
- クルーズ船内で販売される寄港地ツアーとして、会員の農場や食品加工施設、物産施設、飲食店等を巡るモデルコースを造成し、旅行会社に提案。
船会社を対象とした、招待ツアーも開催。

	八代	水俣・芦北	人吉・球磨
ガストロノミー ツアーでの訪問先	・くまモンポート ・宮本農園 （トマト収穫体験） ・一徳堂（どら焼き店） ・丹波（ランチ） ・日奈久ちくわ焼き体験 ・日奈久散策	・モンヴェール農山 （BBQランチ） ・亀萬酒造 ・道の駅 芦北でこぼん	・Kura倉Cafe（ランチ） ・織月酒造 ・立山商店（抹茶体験） ・人吉温泉物産館



くまもと県南フードバレー「ステージ2」の取組み

重点方針2 食品関連企業の育成と誘致

◆ フードバレー経営塾の開催

- 幅広い視野を持ち、企画力と実行力を兼ね備え、外部環境の変化にいち早く的確に対応できるように、農林水産業者や加工業者、飲食業者の経営者等の資質向上を図ることを目的として開催（R7年度12名受講）
- 座学による理論の習得だけでなく、講義の振り返りや追加の講義を行う「グループセッション」と、個別の実務的な課題に対して助言を行う個別セッション等も併せて実施（塾生間による新ビジネス創出も支援）



開催日時		講義内容	講義の概要	講師
第1回	9/16(火) 14:00~17:00	開講式／イントロダクション／経営の基礎	限られた資源で事業を成長させるための原則について学びます。	新改 敬英氏
第2回	10/14(火) 14:00~17:00	WEB&SNSマーケティング戦略と実践	売り上げアップを目的とした集客数と成約率の増やし方を学びます。	川口正之氏
第3回	11/14(金) 14:00~17:00	商品開発のためのマーケティング実践	具体的な商品開発の方法論を、ワークショップを通じて学びます。	早嶋 聡史氏
第4回	12/10(水) 14:00~17:00	顧客体験とコミュニケーション 笑顔の連鎖をつくる	消費者との信頼関係をどう築き、それをどう広げていくか。日々の現場での工夫や体験をもとに、関係づくりのヒントをわかりやすく紹介します。	藤本 和裕氏 新改 敬英氏
第5回	1/28(水) 14:00~17:00	販売促進のためのマーケティング実践	商品を買ってもらうための顧客接点の作り方について学びます。	早嶋 聡史氏
第6回	2/12(木) 14:00~17:00	最終発表／閉講式	受講生による新商品や販売促進プランの発表と閉校式を行います。	新改 敬英氏

くまもと県南フードバレー「ステージ2」の取組み

重点方針2 食品関連企業の育成と誘致

◆ スター事業者への支援

- 地域商社に蓄積された情報を活かし、さらなる成長が見込まれる事業者をピックアップし、経営発展に向けた支援を実施。
 - 果実工房 ひなぐ（八代市）：
晩白柚加工品の県内販路拡大と営業力強化を支援するため、食品卸売会社である(株)ツノダを派遣。
 - あさぎりフレッシュフーズ（あさぎり町）：
レトルト加工品のOEM受注と製造技術を支援するため、OEM受託関連会社であるセイリキ商事(株)・(株)カンショクを派遣。



協議会会則第 8 条に基づいた取組み

- 1 ネットワークの形成
- 2 人材の育成
- 3 情報の共有・発信

1 ネットワークの形成

(1) 売れるモノづくり支援

◆ 会員のチャレンジ支援(会員活動の支援)

- 新たな市場開拓のための新商品開発や、市場やターゲットに応じたブランド化により収益アップを目指す会員の活動に対して支援を実施。

ア) 新ビジネスチャレンジ支援事業助成金

(定額・上限10万円)

R7年度：採択2件

- イスミ商事(株)(人吉市)
やまえ栗のフィナンシェの販売促進・
マーケティング拡大用リーフレット作成

- 耕人舎(水俣市)
ブランディング強化による個人顧客の
販路拡大

イ) 売れるモノづくり支援事業補助金

(事業費の2/3以内・上限50万円)

R7年度：採択3件

- くまぐまアグリ(湯前町)
杵つき精米プロジェクト



- (有)お茶の泉園(八代市)
いずみ抹茶のマカロン販売



- (株)MOANA(人吉市)
地域農産品の魅力発信と販路拡大の
ためのプロモーション事業



1 ネットワークの形成

(2) 強靱な販路づくり支援

◆ 大規模展示商談会への出展支援

- 取引規模が大きく、地域経済への波及効果が高いBtoB市場の獲得に向け、販路拡大を図る会員事業者を支援。

新規成約51件、成約額 104,376千円



	Food Style九州2025	Food Style関西2025
日時	R7.11.19～20	R8.1.28～29
場所	福岡マリンメッセ	インテックス大阪
出展者	・ルコラ ・高見商店 ・果実工房ひなぐ ・エシカルプロダクツ ・サイディン ・あさぎりフレッシュフーズ ・五木屋本舗 ・球磨酪農農業協同組合 ・球磨村特産品開発協議会 ・宮本農園 ・揚八 計12事業者	・ルコラ ・高見商店 ・西田精麦 ・エシカルプロダクツ ・球磨川アーティザンズ ・球磨酪農農業協同組合 ・イナホヤ 計8事業者
成約数	36件	15件
成約金額	76,018千円	28,358千円

1 ネットワークの形成

◆大都市圏における販路拡大支援

- 県南地域の商品の販路拡大を目指すため、以下の物産フェア等を開催・参加。



【R7年度の開催状況】

- 9月 くまもと物産フェア (熊本 @グランメッセ熊本)
- 10月 もっと、もっと！くまもと展 (福岡 @博多大丸)
- 10月 くまもと県南フードバレーフェスタ (熊本 @花畑広場)
- 10月 くまもと県南秋の味覚フェア (福岡 @アンドローカルズ)
- 11月 くまもと農業フェア (熊本 @農業公園)
- 11月 大阪のキタで熊本のミナミ『くまもと県南うまかもんフェア』 (大阪@大阪梅田駅・新梅田食道街)
- 12月 くまもと★みなみ うまかもんフェスタ (熊本@新八代駅がめさん公園) 主催：くまもと県南広域観光連携推進会議



1 ネットワークの形成

●くまもと県南うまかモンフェア

「くまもとモン×大阪梅田ジャック」のイベント期間に併せて開催。新梅田食道街の飲食店(参加18店舗)で県南食材を使用した特別メニュー等(29品)を開発・提供するとともに、抽選会や物販イベントも同時開催し、県南農林畜水産物のPRを実施した。

また、阪急大阪うめだ駅でも県南特産品の販売・PRを実施した。(R7.11.16~17)

【フェア期間中の飲食店街との取引実績】

約540千円

【物販イベント販売実績】

約1,182千円(2日間計)



【飲食店での使用食材(事業者名)】

- はちべえトマト (JAやつしろ)
- 一口からし蓮根 (高見商店)
- 不知火牛 (綱田牧場)
- モンヴェールポーク (モンヴェール農山)
- モンヴェールソーセージ (モンヴェール農山)
- メンチカツ (モンヴェール農山)
- ハモ (濱本水産)
- タチフライ (濱本水産)
- きくらげ (せんい生活)



1 ネットワークの形成

●くまもと県南フードバレーフェスタ

県内における県南地域の農林水産物や加工品の販売促進及びPR等のため、花畑広場（熊本市）において食のPR・販促イベントを開催。RKKまつりとコラボし、県南の“食”を熊本都市圏にPRした。

（R7.10.18～19）

【入場者数】 約150,000名

【参加事業者数】 18事業者・団体等

【売上実績】 約7,885千円



	出展事業者	主な販売商品
八代 地域	揚げ物屋 揚八	唐揚げ、鶏皮チップス
	西田精麦	グラノーラ
	OCEAN	塩からあげ
	八代サニーサイド ファーム	八代特産品のドリンク
	みやざき農園	削りイチゴ、スムージー
水俣 ・ 芦北 地域	モンヴェール農山	ウィンナー串、生ビール
	カネミツ・濱本水産	カキせんべい、アジ焼き
	鬼塚日昭堂	かりんとう万十、くろわっさんど
	木村蒲鉾店	からし蓮根、芋かりんとう
	ナポレオン	豚軟骨丼
	平国丸	海鮮揚げ
人吉 ・ 球磨 地域	りーな21	焼酎、ハイボール
	MOANA	ドライフルーツ、不知火ジュース
	たらぎ財団	多良木町の特産品等、 ジビエやさいスープ
	五木屋本舗	山うに豆腐、揚げたて油揚げ
	(株)やまえ	栗どら焼き、栗まんじゅう
	やまえ堂	栗きんとん、栗んとうまんじゅう
その他	くまもと県南 フードバレー推進協議会	高校生企画商品、FV会員商品

1 ネットワークの形成

◆ECサイトにおける県南産品の全国販売展開

- Yahoo!ショッピング内「くまもと県南フード市場」を運営。
販促キャンペーンとして、「豪雨復興支援感謝キャンペーン」を開催し、県南加工品等の販売を推進。
20～30%割引クーポンや送料無料キャンペーンにて、販売促進を図った。
※商品点数 約150商品

	R7年度	(参考) R6年度
期間	R7.8月～R8.2月	R6.7月～R7.2月
販売個数	1,923個	1,527個
売上額	8,814千円	8,376千円



1 ネットワークの形成

◆台湾(高雄市)の百貨店での販売会の実施

- 台湾に向けた輸出を促進するために、売れる商品作りや輸出に係る手続き、販売等を総合的に支援し、漢神アリーナデパート（台湾・高雄市）において、県南地域の特産品の販売会を実施。

【販売期間】 R8.2.10～R8.2.24

【販売実績】 約578千円



1 ネットワークの形成

(3)異業種交流会

◆ ネットワーク促進交流会の開催

- ネットワークの形成や人脈形成のため、会員約80人と、自治体職員等約40人が参加しての大規模なネットワーク促進交流会を開催。県南地域の食材を使用した特別メニューをビッフェ形式で提供。



【使用食材】

- | | |
|------------------|---------------|
| ・ 八代産野菜 | ・ あしきた牛 |
| ・ 八代トマト | ・ 不知火牛 |
| ・ はちべえトマト | ・ モンヴェールポーク |
| ・ 晩白柚 | ・ 芦北産桜鯛 |
| ・ カネムマンソー
セージ | ・ 芦北産太刀魚 |
| ・ 八代産アサリ | ・ 芦北産海老 |
| ・ 八代産紋甲イカ | ・ 人吉球磨黒豚 |
| ・ 八代海産真ジャク | ・ 人吉温泉きくらげ |
| ・ 八代海産赤舌平目 | ・ 人吉花咲たもぎ茸 |
| ・ 八代海産アカグチ | ・ 人吉球磨酪農ヨーグルト |
| ・ デコポン | ・ 熊本県産ひのひかり |

◆ 県南地域の経済団体との意見交換会の開催

- 八代、水俣芦北、人吉球磨の商工会議所及び商工会、自治体職員等、関係機関約150人が集まり、地域全体で「フードバレー構想ステージ2」の取組みを盛り上げていくことを目的に、意見交換会を開催。



2 人材育成

◆会員向けセミナーの開催

- 大規模セミナー
『くまもと県南フードバレーネットワーク促進交流会』
を開催し、県南地域の食関連事業者の資質向上と会員相互の交流を図った。

【講 師】(株)アンドローカルズ 代表取締役 高倉朋子氏

【演 題】「地域の隅っこに眠るモノ・コトを、まちの食卓へ」

【参加者数】156名



- テーマ別セミナー
『SNS×AI時代の“伝わる発信”セミナー』

- ・ 第1回第1部 (R7.12.9) 出席者数：19名

【演題】実践的マーケティング基礎講座

【講師】(株)共栄コア 代表取締役 荒木久尚氏

- ・ 第1回第2部 (R7.12.9)

【演題】SNSで“選ばれる”発信術

【講師】(株)プロモートWEB 代表取締役 杉本鉄平氏

- ・ 第2回 (R7.12.12) 出席者数：18名

【演題】実業における生成AIフル活用ワーク

【講師】(株)共栄コア 取締役 船橋祐樹氏



2 人材育成

◆専門学科のある高校と連携した商品開発

- 次世代の地域を担う人材の育成のため、県南地域の専門学科のある高等学校と連携し、生徒が商品企画から試作、販売などを実体験しながら商品を開発する取組みを支援。
「県南地域の食材を用いた『健康に良い加工品の開発』」をテーマとして企画を募集。
3校から5企画の提案があり、審査の結果、以下の提案商品を採用し、(株)KASSE JAPANと協働して開発・商品化に取り組んだ。



こだわりベーコンの濃厚
クリームシチュー（水俣高校）



くまもと県南 恵みの
鹿肉味噌（芦北高校）



陽だまりシロップ
（球磨中央高校）

2 人材育成

◆ 市町村活動の支援

15市町村のフードバレー構想推進に係る活動経費を支援

● 市町村事業加速化助成金（上限50万円）

◎台湾市場ニーズ調査事業（八代市）

台湾市場での販路開拓及び継続的な取引の実現に向けた可能性を検証するため、台湾にてニーズ調査を実施

◎大阪梅田「キッチン&マーケット」における「あさぎり町&多良木町フェア」の開催（あさぎり町）

大阪梅田の商業施設「ルクア大阪」にある「キッチン&マーケット」において、あさぎり町と多良木町が連携したフェアを実施

● 市町村活動支援事業（上限10万円）

各市町村の「食」に関わるイベント、情報発信等の事業を支援
(R7年度：採択15件)



販促資材の作成及び試験販売

市町村名	活動内容
八代市	香港における晩白柚のプロモーション
氷川町	氷川町フードバレーPR
水俣市	みなまた和紅茶パンフレットの作成
芦北町	芦北町の地域資源を活用した「芦北フェア」の開催
津奈木町	つなぎふれあい祭り2025のPRに係るチラシ等広告宣伝
人吉市	くまろんフェア2025の開催
錦町	令和7年度チャレンジショップ開発商品PR支援
多良木町	多良木町産球磨焼酎のPR
湯前町	湯前産杵つき精米PR
水上村	水上村特産品PR
相良村	相良村県南フードバレー商品販売促進
五木村	くねぶPR
山江村	やまえ栗PRのれん作成
球磨村	銀座熊本館において開催される「球磨村フェア」でのPR活動
あさぎり町	あさぎり町特産品フェア

3 情報の共有・発信

◆ ホームページやメルマガ、SNSによる情報発信

- 協議会で実施している事業をはじめとする、「食」に関する様々な情報を発信。

	ホームページ	インスタグラム	フェイスブック	メルマガ
情報発信の 主な内容	・フェアやイベントの紹介 ・フードグランプリや交流会の案内	・ECサイト掲載の商品紹介 ・フェアやイベントの紹介	・ECサイト掲載の商品紹介 ・フェアやイベントの紹介	・セミナーや商談会イベントの案内
情報発信の数	7件	72件	72件	31件
アクセス数 ・ フォロワー数	アクセス数 88,960	フォロワー 1,632 (前年度比 +889)	フォロワー 1,166 (前年度比 ▲4)	—



Topics

トピックス



【第4号議案】 令和7年度 収支決算報告について

【収入】

(単位：円)

項	目	予算額			決算額 D	比較増減 計 E(D-C)	備考
		当初	流用・補正	計 C(A+B)			
		A	B				
負担金		75,180,000	216,000	75,396,000	75,092,700	-303,300	
	県負担金	64,680,000	216,000	64,896,000	64,759,700	-136,300	通常負担金 10,000,000円 雇用創出支援事業分 5,924,800円 デジ田交付金 48,627,100円 経済団体との連携・交流会分 207,800円
	市町村負担金	10,000,000	0	10,000,000	10,000,000	0	15市町村負担金 (均等割10% 人口割90%)
	事業参加者負担金	500,000	0	500,000	333,000	-167,000	ネットワーク促進交流会参加負担金
雑収入		10,000	0	10,000	32,999	22,999	
	雑収入	10,000	0	10,000	32,999	22,999	利息（前、後期分）
繰越金		3,471,000	0	3,471,000	3,471,963	963	
	繰越金	3,471,000	0	3,471,000	3,471,963	963	
計		78,661,000	216,000	78,877,000	a78,597,662	①-279,338	

【支出】

(単位：円)

項	目	予算額			決算額 D	予算残額 計 E(C-D)	備考
		当初	流用・補正	計 C(A+B)			
		A	B				
事務費		1,000,000	0	1,000,000	331,360	668,640	
	事務費	1,000,000	0	1,000,000	331,360	668,640	理事会等開催経費、消耗品費、通信費、振込手数料 等
事務職員		2,600,000	0	2,600,000	2,582,932	17,068	
	人件費	2,600,000	0	2,600,000	2,582,932	17,068	事務職員給与、保険料 等 (令和7年4月～令和8年3月)
事業費		73,881,000	216,000	74,097,000	72,264,193	1,832,807	
	ネットワークの形成	13,016,000	216,000	13,232,000	12,514,359	717,641	会員活動支援、異業種交流促進、インバウンド向け県南PR 経済団体との連携・交流会分
	人材の育成	4,400,000	0	4,400,000	4,284,734	115,266	各種講演会・セミナー開催、高校連携事業、市町村活動支援 等
	情報の共有・発信	1,600,000	0	1,600,000	740,000	860,000	ホームページ管理運営、広報費 等
	アドバイザー支援事業	6,125,000	0	6,125,000	6,106,000	19,000	農商工連携アドバイザーによる事業者支援 等
	デジ田交付金事業 (第2世代交付金事業)	48,740,000	0	48,740,000	48,619,100	120,900	豪雨災害からの復興支援ECキャンペーン、展示商談会、経営塾、県南フードグランプリ、専門家派遣、販促フェア等
予備費		1,180,000	0	1,180,000	297,114	882,886	
	予備費	1,180,000	0	1,180,000	297,114	882,886	事務職員人件費（差額支給に係る不足分）等
計		78,661,000	216,000	78,877,000	b 75,475,599	㊟ 3,401,401	

a (収入)	-	b (支出)	=	(繰越額) ① + ②
78,597,662	-	75,475,599	=	3,122,063

くまもと県南フードバレー推進協議会 会長専決処分

専決第 1 号 令和 7 年度事業計画

専決第 2 号 令和 7 年度収支予算

くまもと県南フードバレー推進協議会会則第 1 4 条第 1 項の規定により専決処分を行いましたので報告します。

令和 7 年（2025 年）12 月 10 日

くまもと県南フードバレー推進協議会 会長 竹内 信義

【専決第1号】

令和7年度くまもと県南フードバレー推進協議会事業計画

1 ネットワークの形成

新 経済団体との連携・交流会

県南各地域の商工・観光関係者との協力・連携体制を強化し、県南地域におけるフードバレー構想の浸透を図り、地域全体で取組みを盛り上げていくため、商工会議所・商工会等との交流会を開催する。

【専決第2号】

令和7年度 収支予算書

【収入】

(単位：千円)

項	目	令和7年度 予算額 (A)	補正 予算額 (B)	(A)+(B)	備考
負担金		75,180	216	75,396	
	県負担金	64,680	216	64,896	
	通常分	10,000	216	10,216	通常負担金 10,000千円 経済団体との連携・交流会分
	雇用創出支援事業分	5,940	0	5,940	農商工連携支援アドバイザー配置、人材育成
	デジ田交付金分	48,740	0	48,740	財源負担割合 国 50%：熊本県 50%
	市町村負担金	10,000	0	10,000	15市町村 (均等割 10% 人口割 90%)
	事業参加負担金	500	0	500	交流会、展示商談会出展等に係る参加者負担金
雑収入		10	0	10	預金利子等
繰越金		3,471	0	3,471	
計		78,661	216	78,877	

【支出】

(単位：千円)

項	目	令和7年度 予算額 (A)	補正 予算額 (B)	(A)+(B)	備考
事務費		1,000	0	1,000	理事会及び企画・運営委員会経費、事務用品・消耗品代、通信費、使用料等
事務職員人件費		2,600	0	2,600	事務職員給与、通勤費、保険料
事業費		73,881	216	74,097	
	「ネットワークの形成」事業	13,016	216	13,232	会員活動支援、異業種交流促進、インバウンド向け県南PR 経済団体との連携・交流会分
	「人材の育成」事業	4,400	0	4,400	各種講演会・セミナー開催、専門学科のある高校連携、市町村活動支援等
	「情報の共有・発信」事業	1,600	0	1,600	ホームページ管理・運営、広報費等
	アドバイザー支援事業	6,125	0	6,125	農商工連携アドバイザーによる事業者支援
	デジ田交付金事業 (第2世代交付金事業)	48,740	0	48,740	豪雨災害からの復興支援ECキャンペーン、展示商談会、経営塾、県南フードグランプリ、専門家派遣、販促フェア等
予備費		1,180	0	1,180	
計		78,661	216	78,877	

会 計 監 査 報 告 書

くまもと県南フードバレー推進協議会の令和7年度(2025年度)収入・支出決算を監査したところ、帳簿及び証拠書類は整備されており、その執行は適正と認められたので報告します。

令和 8 年 4 月 30 日

監事 株式会社肥後銀行 八代ブロック

八代ブロック長兼八代支店長

崎 山 誠 治



会 計 監 査 報 告 書

くまもと県南フードバレー推進協議会の令和7年度(2025年度)収入・支出決算を監査したところ、帳簿及び証拠書類は整備されており、その執行は適正と認められたので報告します。

令和 8 年 5 月 11 日

監事 株式会社日本政策金融公庫 熊本支店

支店長兼農林水産事業統轄

中澤 勝美 



くまもと県南フードバレー

第5号議案 令和8年度 事業計画(案)について
第6号議案 令和8年度 収支予算(案)について

令和8年5月

くまもと県南フードバレー推進協議会

令和8年度 フードバレー関連の取組み

協議会

資料3

■協議会会則第8条に基づいた取組み

①ネットワークの形成

- ・ネットワーク促進交流会の開催
- ・経済関係団体等との意見交換会の開催
- ・市町村活動の支援
- ・農商工連携支援アドバイザーによる支援
- ・ECサイトにおける県南産品の全国販売展開
- ・県南フードバレー販売コーナーの確保
- ・RENGAブランドへの支援

②人材の育成

- ・会員のチャレンジ支援
- ・会員向けセミナーの開催
- ・スター事業者を目指す事業者の成長支援

③情報の共有・発信

- ・WEBを使った情報発信と共有

■くまもと県南フードバレー構想推進に向けた4つの方向性に基づいた取組み

くまもと県南フードバレー「ステージ2」の取組み

重点方針1

重点方針2

(1)6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

- 6次産業化・高付加価値化
 - ・くまもと県南フードグランプリの開催【県】 重1
 - ・事業者の施設整備・設備導入支援【県】 重2
 - ・商品開発支援【県・八代市・水俣市・芦北町・錦町・多良木町・相良村・五木村】 重1

県・市町村

参考資料3

- 観光との連携
 - 新・DCでの食の魅力発信、観光誘客の促進【県】 重1
 - 新・食関連コンテンツの掘り起こし、磨き上げ【県】 重1
- 経済界との連携
 - 新・県南地域の経済関係団体等が実施する取組みへの支援【県】
 - 新・県南各地域でのフードバレー関係イベントの開催【県】

(2)地域内生産物等を活かす企業・研究開発機能等の集積

- ・企業の農業参入の誘致・推進【相良村・五木村】 重2

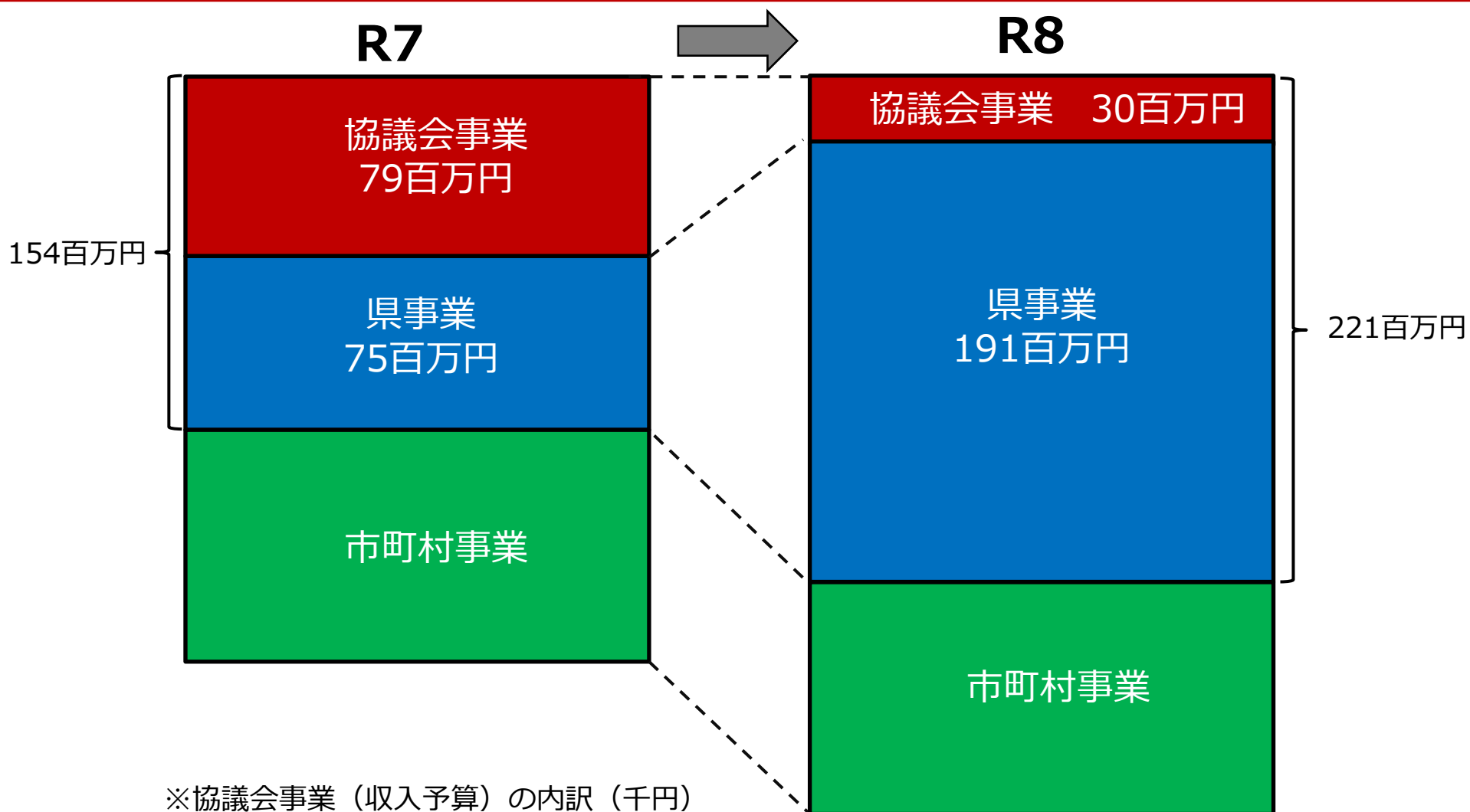
(3)アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

- 消費者向けフェア・イベント等の実施
 - ・アジア圏：【八代市】
 - ・都市圏：【県・八代市・芦北町・相良村・あさぎり町】
 - ・地域内：【八代市・人吉市・水俣市・芦北町・津奈木町（県内含む） 錦町・多良木町・水上村・相良村・球磨村】
- バイヤー向け商談会等の実施
 - ・商談会、産地視察の実施【八代市】
 - 新・県内における商談会の開催【県】
 - ・大規模展示商談会への出展支援【県】

(4)人材育成の強化・推進体制の構築

- 人材育成
 - ・フードバレー経営塾の開催【県】 重2
 - ・専門学科のある高校と連携した商品開発【県】
 - ・農林水産体験事業の推進【八代市】 重2
- 推進体制の構築
 - ・他市町村等との連携等【人吉市・氷川町】

フーdbレー関連予算 令和7年度と令和8年度との比較（イメージ図）



県負担金	64,896
市町村負担金	10,000
繰越金他	3,981
合計	78,877

県負担金	15,940
市町村負担金	10,000
繰越金他	3,632
合計	29,572

令和8年度事業計画について

■「ネットワークの形成」「人材の育成」「情報の共有・発信」の取組みを継続して行う。

■また、フードバレー構想の更なる推進に向け、県や市町村、商工・観光事業者、特に地元での浸透拡大を図るため県南地域の経済団体と連携して、「ステージ2」としての飛躍を目指す。

1 ネットワークの形成

■県内外におけるネットワークを形成するため、県や市町村と連携して異業種交流や販促の場を提供する。また、そこで生まる課題やニーズを踏まえた取組みを実施し、売れるモノづくりや強靱な販路づくりを推進する。

◆ネットワーク促進交流会の開催

- 農林水産業者や商工業者等、会員事業者による異業種間のネットワーク、人脈形成のための情報交換会等を実施する。



◆経済関係団体等との意見交換会の開催

- 県南地域の経済界等との連携を強めるため、意見交換会を実施する。
 - ・ 時 期：10月（予定）
 - ・ 参集範囲：
市町村長、商工会議所会頭・商工会会長、JA組合長、副知事・県関係部局長 他



1 ネットワークの形成

◆市町村活動の支援

- 県南15市町村のフードバレー構想の推進に係る活動経費を支援する。
 - ・ 市町村事業加速化助成金（上限50万円）
 - ・ 市町村活動支援事業（上限10万円）



◆農商工連携支援アドバイザーによる支援

- 県南地域の生産者と加工事業者のマッチング支援、販路拡大に向けたアドバイス等を実施するため、地域商社と連携し、農商工連携支援アドバイザーを配置する。

1 ネットワークの形成

◆ECサイトにおける県南産品の全国販売展開

- Yahoo!ショッピング内「くまもと県南ふうど市場」(R3年開設)を活用し、利用者の利便性向上を図るとともに、フードバレー会員商品の全国販売を推進する。



◆県南フードバレー販売コーナーの確保

- 関係機関とも連携しながら県南産品の常時展示販売先の開拓・確保に向けた取組みを進めるとともに、引き続き、SAKURAMACHI Kumamoto旬彩館さくら、くまモンビレッジ、県南地域物産館等に設置している「県南フードバレー販売コーナー」で販売促進を図る。

◆RENGAブランドへの支援

- 県南地域の認知度向上に向け、RENGAブランドを活用した商品開発や販路拡大等を推進する。



2 人材の育成

■売れるモノづくりや販路開拓などが行える人材を育成するため、県や市町村と連携して異分野のスキルを習得できるセミナーや講演会などを開催する。また、将来にわたり県南フードバレーを支えていくリーダーを育成していく。

◆会員のチャレンジ支援

- 新たな市場開拓や市場優位性が見込まれるビジネスの創出や市場分析に基づいた売れるモノづくりのための取組みに要する費用の一部を支援する。

ア) 売れるモノづくり支援（補助額上限50万円（補助率2/3以内））
商品開発や販路開拓等により収益アップを目指す事業

イ) 新ビジネスチャレンジ支援（助成額上限10万円（一律））
新たな市場開拓等のための新商品開発等に関する事業



2 人材の育成

◆会員向けセミナーの開催

- 会員事業者や協議会入会を検討している事業者に向け、食関連業界の成功事例や協議会事業に係る事例発表などを行う。
 - ・ 内容：講演会、高校生による企画商品発表、異業種交流会 等
 - ・ 対象：会員事業者 他
 - ・ 定員：150名程度
- 会員事業者が商品開発や販路拡大に取り組む際に必要となる基礎的知識・能力を身に付けるための個別セミナーを関係機関とも連携しながら開催する。
 - ・ 対 象：会員
 - ・ 定 員：各10～20名
 - ・ 開催回数：3回程度



◆スター事業者を目指す事業者の成長支援

- 地域をけん引するスター事業者の育成のため、さらなる成長が見込まれる事業者等を選定し、事業者の課題やニーズに応じ、様々なプレーヤーと連携しながら、経営発展に向けた支援を実施する。

3 情報の共有・発信

■協議会で実施する各種事業や国・県・市町村・関係団体等が実施する“食”関連事業、地域資源・観光資源の魅力等を発信することで、関係者が県南地域の“食”に関する情報を共有すると共に、会員獲得、会員事業者の販路開拓支援、企業誘致の促進などを図る。

◆WEBを使った情報発信と共有

- 公式ホームページ・フェイスブック・Instagramを活用した情報発信
 - ・協議会が実施する各種事業や県南地域の“食”に関連したイベントなど、会員、消費者バイヤーそれぞれのニーズに合わせて情報を発信する。
(協議会で実施するセミナーや支援事業の募集、事業の実施状況、会員事業者の商材情報 他)
- メールマガジンの発行
 - ・協議会や市町村、県、関係団体等における各種事業の積極的な活用を促すため、“食”に関するイベントや、協議会、市町村、県、関係団体等における“食”や“農”に関連した取組み(事業等)情報をメールマガジンとして会員に配信する。
発行頻度：情報発信の必要がある都度
対象：送付を希望する会員
※会員情報の更新を実施する。



【第6号議案】 令和8年度収支予算（案）について

【収入】

（単位：千円）

項	目	令和8年度 予算額 (A)	前年度 当初予算額 (B)	(A) - (B)	備考
負担金		26,440	75,180	-48,740	
	県負担金	15,940	64,680	-48,740	
	通常分	10,000	10,000	0	
	雇用創出支援事業分	5,940	5,940	0	農商工連携支援アドバイザー配置、人材育成
	国交付金分	0	48,740	-48,740	
	市町村負担金	10,000	10,000	0	15市町村（均等割 10% 人口割 90%）
	事業参加負担金	500	500	0	交流会、展示商談会出展等に係る参加者負担金
雑収入		10	10	0	預金利子等
繰越金		3,122	3,471	-349	
計		29,572	78,661	-49,089	

【支出】

(単位：千円)

項	目	令和8年度 予算額 (A)	前年度 当初予算額 (B)	(A) - (B)	備考
事務費		1,000	1,000	0	理事会及び企画・運営委員会経費、事務用品・消耗品代、通信費、使用料 等
事務職員人件費		2,900	2,600	300	事務職員給与、通勤費、保険料
事業費		19,651	73,881	-54,230	
	「ネットワークの形成」事業	8,526	13,016	-4,490	異業種交流促進、市町村活動支援
	「人材の育成」事業	3,400	4,400	-1,000	各種講演会・セミナー開催、会員活動支援 等
	「情報の共有・発信」事業	1,600	1,600	0	ホームページ管理・運営、広報費 等
	アドバイザー支援事業	6,125	6,125	0	農商工連携アドバイザーによる事業者支援
	国交付金事業	0	48,740	-48,740	
予備費		6,021	1,180	4,841	
計		29,572	78,661	-49,089	



くまもと県南フードバレー

令和7年度 くまもと県南フードバレー構想推進に向けた 県・市町村の取組み実績

令和8年5月

(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

◆農林水産物を使用した商品開発支援【八代市】

- 本市の農林水産物を使用した魅力ある新商品開発や販売促進に取り組んだ。
(R7年度は15品目の商品開発を支援)
- 商品開発により、八代の特産品の付加価値の向上を図るとともに、地域ブランド化推進を図った。
- 晩白柚・いずみ抹茶フェアについては、参加事業者の多くが八代市の特産品PRへの貢献や新規顧客への周知効果を実感しており、フェアをきっかけとした新商品開発・継続販売の動きにつながった。

【やつしろ「晩白柚・いずみ抹茶」フェア】

市内27店舗で54商品を販売 (R8.1.16~2.28)



商品試飲会



坂本の冷凍ばたもち



ジビエ



試作



抹茶ゼリー

ちくワン饅頭

柚子の酒

【ご当地グルメ「ちくワンドッグ」開発】

市内12店舗で18商品を販売中 (R7.11月~)



(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

◆事業者の施設整備・設備導入支援【県】

- 農産物等の高付加価値化など、先進的な取り組みを行う事業者が、さらなる事業発展のために行う施設整備や設備導入に係る費用を補助した。

○(有)エヌシービジョン (島根県)

八代市に熟成加工工場を整備し、飲食店における熟成加工に係る設備投資の負担を軽減するとともに、熊本県産食材の利用拡大に繋がった。

○(株)ルコラ (八代市)

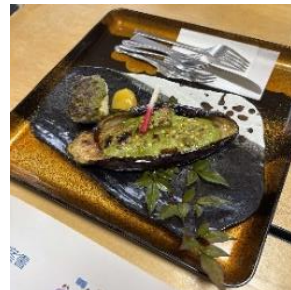
改築による食品加工工場の整備及びグルテンフリー商品製造設備導入し、米粉商品のラインナップ強化とともに、原料の仕入れに伴う県南地域の米農家の収支改善に大きく寄与した。



(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

◆熊本県立大学KUMAJECTと連携した村産品活用フードメニューの開発【相良村】

- 地産地消や特産物の消費拡大の視点から、村内の特産品や食材（鮎、茶（挽茶）、四浦こんにゃく etc）を用いた観光客向けフードメニューの開発研究。村の第3セクター（くまもと県南FV会員事業所）協力のもと、和食分野での試作、試食会を実施。



(2) 地域内生産物等を活かす企業・研究開発機能等の集積

◆地域性を生かした新規作物の導入による企業の農業参入の推進【五木村】

- 九州で唯一の夏秋イチゴ生産地として、企業誘致を目的に企業連携の方法検討や課題整理、各企業の要望調査を実施。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

【消費者向けフェア・イベント等の実施】

◆海外での販路拡大【八代市】

- 本市の農林水産物の販路拡大を図るため、台湾、香港、シンガポールを中心としたアジア圏域でのプロモーションを実施。
- 市内事業者の輸出への意欲喚起のためセミナーや事業報告会を開催。

【台湾プロモーション】



テストマーケティング
トップセールス(R7.9月)

【香港プロモーション】



晩白柚プロ
モーション(R8.1~2月)

【シンガポールプロモーション】



小売店・飲食店フェア
(R8.2月)

【セミナー開催】 R7.8月 21名参加



【報告会開催】 R8.3月 17名参加

◆国内での販路拡大に向けた取組み【八代市】

- 本市の農林水産物の販路拡大を図るため、都市圏を中心としたプロモーションを実施。

【都市圏でのプロモーション】



大阪トマトプロモ
ーション(R7.11月)



北海道晩白柚プロ
モーション(R8.2月)

(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆ 芦北町特産品の認知度向上と消費拡大【芦北町】

- 福岡市内を中心とするONOグループのレストラン等において、「芦北フェア」を開催し、芦北町産品の認知度向上及び消費拡大を図るとともに、町内生産者とホテル等との継続的な取引に繋がった。
 - ・ 芦北町特産品の販売・・・温泉塩、黒糖、和紅茶、柑橘類等の販売
 - ・ 「芦北フェア」（食事）・・・福岡市内飲食店等で、芦北食材を使用した「芦北フェア」を実施。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆球磨焼酎のPR【多良木町】

- 「第9回九州のお米食味コンクール」(R7.11月@福岡県宮若市)にて、地元酒販店と連携し、町内7蔵元の球磨焼酎のPR・販売を実施。また、購入者へオリジナルノベルティグッズを配布し、球磨焼酎の認知度向上及び販路拡大を目的に活動を実施。

宮若市は、芋焼酎のシェアが多い地域であるため、当初は米焼酎を珍しがられる場面もあったが、炭酸割りやお湯割りなど具体的な飲み方を併せて紹介することで購入に繋げる事が出来た。

3年ぶり2回目の出店であったが、リピーターもあり認知度が高まってきていると感じた。



◆みずかみ村の収穫祭【水上村】

- 首都圏に対して水上村の魅力を発信し、交流人口、関係人口の増加やふるさと納税増収、村産製品の市場拡大を図るため、10月に東京都渋谷区ミナガワビレッジにおいてみずかみ村の収穫祭を開催。
- 郷土料理の試食(栗ご飯、シシ汁、ほうじ茶)や大石酒造による焼酎を使用したカクテルの試飲、きくらげ・栗・米の販売を行った。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆希少柑橘「くねぶ」の活用による地域の魅力発信【五木村】

- 銀座熊本館で開催された「球磨焼酎フェア（R7.10.28～11.9）」において、「くねぶ」のPRと対面販売を実施。対面販売を通じて、消費者に「くねぶ」の魅力や生産背景について理解を深めてもらうことができ、認知度の向上と地域の魅力発信につなげることができた。



◆球磨村の特産品の魅力発信【球磨村】

- 球磨村観光協会や関係事業者と連携し、R8.2月に銀座熊本館において特産品の魅力発信のため「球磨村フェア」を開催し、特産品の販売や試食、観光パンフレットの配布を行い、関東での認知度向上を図った。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆あさぎり町の食の魅力発信【あさぎり町】

- 町内事業者や(株)あさぎり商社と連携し、あさぎりフェアを開催し町外に向けた魅力を発信するとともに、地元での認知度向上及び消費拡大を図った。



大阪新梅田食堂街でのフェア



地元サンロード免田店でのフェア



◆大阪梅田『キッチン&マーケット』における『あさぎり町&多良木町フェア』の開催【あさぎり町、多良木町】

- ルクア大阪のテナントである『キッチン&マーケット』において、『あさぎり町&多良木町フェア』を開催し、大阪でのニーズ把握や新商品の開発に向けたマーケット調査を実施した。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆フードバレーの認知度向上【八代市】

- インバウンド客や市民向けにフードバレーやつしろの取組をPRするイベントを開催し、地域内での機運醸成を図った。

【クルーズ船へのPR】計2回



【市内イベントへの出展】計4回



◆くまろんフェアの開催【人吉市】

- 人吉球磨地域にある飲食店、和洋菓子店、パン屋など様々なお店がくまろんフェアに参加し、球磨栗を素材に趣向を凝らしたメニューや商品を提供、観光客や地元の方に球磨栗の美味しさと知名度アップを図った。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆みなまた和紅茶のさらなる情報発信や消費拡大【水俣市】

- 市内外で開催される各種イベントにおいて、「みなまた和紅茶」のPRを行うため、パンフレットを作成。
- 本市で毎年開催している「九州和紅茶サミットinみなまた」においてもパンフレット活用により、和紅茶に関する魅力を発信し、消費拡大を図ることができた。



◆町の拠点「道の駅」を活用した特産品の魅力発信と事業周知【氷川町】

- 町内外から多くの来訪者で賑わう食の拠点「道の駅竜北」を最大限に活用し、本町の特産品のPR効果を高めるとともに、「くまもと県南フードバレー構想」の周知を図るため、四季折々の旬の農産物に合わせた専用のぼり旗等のPR資材を設置した。来訪者の購買意欲を喚起し、継続的な認知度向上につなげることができた。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆芦北地域の食の魅力発信と地域活性化に向けた取り組み【芦北町】

- 水俣・芦北地域への来訪客を確保し地域経済の活性化を図るため、芦北地域の飲食店に参加を募り、夏季は「芦北伽哩街道」、冬季は芦北町がモデルとなっている漫画「放課後ていぼう日誌」とコラボした「放課後ていぼう日誌ぶらりメシ」を開催。漫画に出てくる食材や地元の食材を用いて町特製の料理を提供。また、スタンプラリー等を実施し「放課後ていぼう日誌」「芦北町特産品」等のノベルティグッズを提供（芦北町観光協会主催）。



◆地域の「食」の販路拡大に向けた情報発信支援【津奈木町】

- 津奈木町商工会や津奈木漁協、JA、津奈木町文化協会等と連携し、11月に町の産業文化祭として「つなぎふれあい祭り」を開催。地域特産品や地域グルメの出店により、地域産品の販路拡大と関係人口の構築を図るため、新聞折込チラシによる情報発信の支援を行った。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆新たな宿泊施設を活用した「食」の魅力発信と観光客誘致【津奈木町】

- R7.10月末に「つなぎ温泉ホテル四季彩」がリニューアルオープンし、町の食の拠点として、不知火海の海の幸や地元の旬の食材を存分に楽しめるレストランにも力を入れている。町の重要な観光拠点施設として観光客誘致に積極的に取り組むと同時に、地域の「食」の魅力発信を引き続き行っていく。



◆新たな特産品の魅力発信【錦町】

- R6年度に開発した新商品を中心に、錦町の物産・観光・伝統工芸等、町の魅力を総合的に発信するため、ECサイトへの掲載及びキャンペーン実施の他、各種PRを実施した。



◆チャレンジショップ開発商品のPR【錦町】

- 錦町と球磨中央高校との連携事業「チャレンジショップ事業」においてR5年度に開発した新商品のPR資材を作成し、イベントの他、球磨中央高校の卒業生や同窓会等で配付するため、球磨中央高校関係者を起点としたPRを支援した。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆湯前産杵つき精米のPR【湯前町】

- 平成30年度より休止していた湯前町の杵つき精米所は、7年の時を経て令和7年度に再稼働。
この杵つき精米を広くPRするために、R7.11.1に開催された湯前駅レールウイング複合施設の落成式及びマルシェにおいて、来場者先着300名に無料配布を実施。
町内外から訪れた多くの来場者に対し、杵つき精米の認知度向上を図った。



◆水上村・コスモスカフェコラボ企画【水上村】

- 水上村の特産品であるジビエ及びきくらげを使用したメニュー開発を行い、村のPR、特産品の認知度向上、ふるさと納税増収につなげることを目的に実施。嘉島町の県フットボールセンター内「コスモスカフェ」において1月～3月までの約3ヶ月間、ジビエ及びきくらげを使用したメニューを展開（R8.1.6～3.25）。フェア終了後には定番メニューとして実施できるよう検討を行った。また、フェア期間中ふるさと納税のチラシを配布し啓発を行った。

水上村キャンペーン
ご提案書

■目的

- 水上村を来店者にPRする
- 水上村産品の認知度向上
- ふるさと納税につなげる

■概要

期日：2026年1月6日（火）～3月25日（水）
 販売：COSMOS CAFE
 （熊本県上益城郡嘉島町下六西1533-2 熊本県フットボールセンター内）
 営業時間：水～金 11～17:00、土・日曜 10～16:00

■販売メニュー

水上村のジビエを使った新しいメニューを提供！
 副菜には水上産キクラゲを使用

▲①「ジビエタコス」900円（予定）
 水上産品：ジビエ（鹿肉）ミンチ

▲②「ジビエホットドッグ」600円（予定）
 水上産品：ジビエ（鹿肉）ソーセージ

期間中の販売目標：500個
 通常メニューにもキクラゲ使用の副菜

■制作物

- ・店頭ポップ
- ・ふるさと納税リーフレット
- ・SNS広告

前同制作物▶

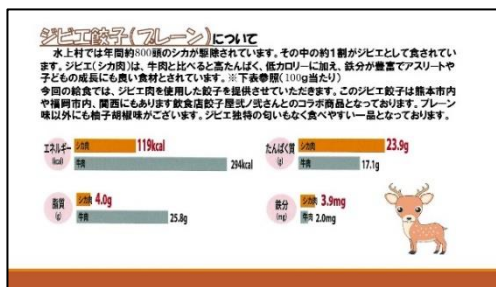
LocalGain

(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆学校給食による地産地消の推進【水上村】

- 1月の給食週間に水上村特産品の地産地消事業を実施し、村内児童生徒教職員分として各180食を提供した。

1月27日（イチゴ）、28日（ジビエ餃子）、29日（きくらげ）



食育用説明資料



地元食材を使用した給食

◆協定締結大学文化祭での村産品ブース出店【相良村】

- 熊本県立大学の白亜祭での販売活動（R7.11.8～9）
くりくり団子や相良茶、相良米、鮎の甘露煮など
農水産物や加工品を出品し、村外への魅力発信活動
を実施。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆茶育出前講座【相良村】

- 相良村茶振興協議会と熊本市内の小学生（熊本市立慶徳小学校）を対象に、お茶の淹れ方や歴史、文化を体験的に学ぶ「茶育(ちゃいく)」を実施。お茶を飲む習慣が希薄化する若年層に対する理解や国内消費拡大の取組実施。



◆PR 等資材(ノベルティ)での販売促進【相良村】

- 村内のFV会員事業者に販売促進用ノベルティを配布し、販促活動を展開。買い物での繰り返しの利用とともに継続的なPRが図られるよう、トートバッグ（270枚）を配布。

◆「GI登録したやまえ栗」の魅力発信【山江村】

- やまえ栗のGI登録に伴い、「GI登録したやまえ栗」をPRするため、暖簾を作成。特産品であるやまえ栗を活かした『やまえ栗まつり』において、暖簾を使用し、認知度向上及び消費拡大を図った。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

【バイヤー向け商談会等の実施】

◆商談会、産地視察の実施(海外)【八代市】

- 本市の農林水産物の販路拡大を図るため、台湾、香港、シンガポールを中心としたアジア圏域での企業訪問や商談会等を開催した。

【台湾事業】

台北市においてテストマーケティング実施。

併せてバイヤーを招聘し、商談を実施。

商談：14事業者と商談



【シンガポール事業】

シンガポールにおいて商談会を実施。

本市農林水産物の提案を行った。

商談：8事業者と商談



【香港事業】

イオンストアーズ香港、味珍味等の企業訪問を実施。

本市農林水産物の提案を

実施した。

商談：4事業者と商談



【産地視察】

香港のバイヤーに対し産地視察を実施。

本市農林水産物の提案を行った。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆商談会、産地視察の実施(国内)【八代市】

- 本市の農林水産物の販路拡大を図るため、市内へのバイヤーやシェフ招聘や商談会を実施。

【バイヤー等との商談会】



イオン九州との商
談会(R7.11月)

ハローデイとの商
談会(R8.2月)

【産地視察、試食会】



産地視察
計6回

クルーズ船シェフ
試食会(R7.12月)

(4) 人材育成の強化・推進体制の構築

【人材育成】

◆農林水産業体験事業の推進【八代市】

- 本市の豊富な農林水産物を観光資源と捉え、収穫体験等の農林水産業体験を実施する事業者を支援。

【セミナー開催】

R7.8月 17名参加



【モニターツアー開催】

オンラインツアー
R8.2月 15名参加



インバウンド
R8.1月 5名参加





くまもと県南フードバレー

令和8年度 くまもと県南フードバレー構想推進に向けた 県・市町村の取組み計画

令和8年5月

(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

【6次産業化・高付加価値化】

◆くまもと県南フードグランプリの開催【県】

重点方針1

- 協議会会員がこだわりを持って作った加工食品等の地域産物の付加価値を高め、商品の認知度向上と販路開拓を目指し、「くまもと県南フードグランプリ」を実施する。また、新たにグランプリ参加商品を対象にした商品のブラッシュアップ支援を行う。



R7グランプリ受賞商品

◆事業者の施設整備・設備導入支援【県】

重点方針2

- 事業者の施設・設備投資に係る費用を補助することで、事業者における収益改善やコスト高対策だけでなく、地域経済を牽引し、他の事業者のモデルケースとなりうる事業者を育成する。



(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

◆商品開発支援

重点方針1

◇県南地域のポテンシャルを引き出す新商品開発【県】

- 専門家によるセミナーの開催及び個別アドバイスに加え、アグリビジネスセンター及び産業技術センターの機能を活用し、加工試作を行うことで、新商品開発や既存商品のブラッシュアップにつなげる。



◇事業者の商品開発支援【八代市】

- 市内事業者の商品開発にかかる費用を支援する。
- 事業者へ課題を課すコミット型の講座と、専門講師による伴走型の支援を実施することで商品開発を促進する。



(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

◇事業者の商品開発支援【水俣市】

- 市内生産者に対し、マガキを使用した加工品開発のための機器導入を支援する。

◇芦北町産品を活かした商品開発【芦北町】

- 有限会社御立岬（第三セクター、道の駅たのうら指定管理者）と連携して、道の駅の目玉となるような新商品を開発する（御立岬温泉塩を使った「塩ロールケーキ」を予定）。

◇チャレンジショップ商品開発【錦町】

- 錦町と球磨中央高校との連携事業「チャレンジショップ事業」において、R5年度に開発した2種類のアイスに加え、新フレーバーを開発する。

◇7蔵元集約パッケージの制作【多良木町】

- 町内7蔵元の球磨焼酎を集約した「飲み比べミニボトルセット」を商品化し、手軽な比較体験を通じて球磨焼酎のPRを行うことで、地域ブランドの向上を図る。

(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

◇川辺川や村の魅力を活かした新商品開発やブランド化の支援【相良村】

- 商品開発に取り組む相良村観光協会や地元有志グループを村のSNS等で情報発信するほか、マルシェイベントの開催、今秋開業予定の交流施設や村有の食品自動販売機の売り場と連携を図るなど、チャレンジの機運を高める。
- さがらムーブ長者育成塾をはじめとした、魅力ある商品づくりや人材育成、川辺川のブランド化、村全体での賑わい創出や所得向上につながる取組み、支援を継続する。



◇「くねぶ」の特徴を活かした商品開発【五木村】

- 他の好酸柑橘類との差別化を図るため、「くねぶの香気成分及び機能性成分」に関する研究を熊本県立大学に委託し、くねぶの特徴に適した商品開発を行う。



(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

【観光との連携】

◆DCでの食の魅力発信、観光誘客の促進【県】

重点方針1

新規

- 令和8年7～9月に開催する「熊本デスティネーションキャンペーン（DC）」において、水俣・芦北地域で近年磨き上げてきた「和紅茶」や山江村「栗まんじゅう」、八代市「クラフトジン」といった県南の多様な食の魅力を効果的に発信するとともに県内宿泊を促す施策を実施し、誘客促進に繋げる。また熊本の食文化の魅力を国内外に強力に発信していく。



水俣・芦北地域で近年磨き上げてきた「和紅茶」を、旅行商品化

◆食関連コンテンツの掘り起こし、磨き上げ【県】

重点方針1

新規

- 県南地域の食関連コンテンツ（観光農園、農業体験等）を地域内への誘客へとつなげるため、観光農園や農業体験等の実施に意欲ある、県南地域の食関連事業者や生産者等の掘り起こしと、食体験コンテンツとしての磨き上げを行う。



(1) 6次産業化、農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

【経済界との連携】

◆ 県南地域の経済関係団体等が実施する取り組みへの支援【県】

新規

- 県南地域におけるフードバレーの機運醸成を図るため、商工会議所・商工会等が実施するフードバレーをテーマにしたメニューを提供するフェア等を支援する。
 - ・ポスター・チラシ・のぼり旗・ノベルティグッズ作成費等の助成
 - ・メニュー開発のための食材情報の提供 など

◆ 県南各地域でのフードバレー関係イベントの開催【県】

新規

- 地元におけるフードバレーの浸透を図るため、八代、水俣・芦北、人吉・球磨の各地域において、食関連のイベントを開催する。



(2) 地域内生産物等を活かす企業・研究開発機能等の集積

【企業の農業参入の誘致・推進】

重点方針2

◆食関連の事業者や農業参入企業の誘致【相良村】

- 飲食店や加工事業者等の拡大、食関連の企業誘致や農業参入支援の取り組み、食と観光などさまざまな事業者との連携を推進する。

◆地域性を生かした新規作物の導入による企業の農業参入の推進【五木村】

- 夏秋イチゴ生産団地化を推進するため、企業誘致に向けて、協力連携事業体（参入を検討する企業）との協議を進める。これにより、他産地と比較して優位な夏秋イチゴ生産を実現し、ブランド化を図ることで、多様な販路の開拓と商品価値の向上を目指す



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

【消費者向けフェア・イベント等の実施】

◆海外での販路拡大【八代市】

- 本市の農林水産物の販路拡大を図るため、台湾、香港、シンガポールを中心としたアジア圏域でのプロモーションを実施する。
- 市内事業者の輸出への意欲喚起のためセミナーや事業報告会を開催する。

【台湾プロモーション】

展示会等に出展し、台湾国内での本市農林水産物の認知度向上及び販路拡大を図るためのプロモーションを実施。



【シンガポールプロモーション】

シンガポールでの本格的な輸出に向けて、現地での小売店、飲食店でのフェアを開催し、本市の農林水産物の認知度向上と販路拡大を図る。



【香港プロモーション】

イオンストアーズ香港において、晩白柚フェアを開催し、晩白柚の認知度向上と販路拡大を図る。



【セミナー・海外事業報告会等の実施】

市内事業者の輸出に対する意欲喚起を行うためのセミナーや報告会を開催する。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆大都市圏での販促フェア及びフードバレーフェスタの開催【県】

- 県南産品の認知度向上及び消費拡大・販路拡大を図るため、大都市圏（大阪・福岡等）での販促フェア及び熊本市内でのフードバレーフェスタを開催する。



◆国内での販路拡大【八代市】

- 本市の農林水産物の販路拡大を図るため、都市圏を中心としたプロモーションを実施する。

【都市圏でのプロモーション】
東京、大阪、福岡での本市農林水産物の認知度向上及び消費拡大・販路開拓を図るためのプロモーションを実施する。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆芦北町特産品の認知度向上と消費拡大【芦北町】

- 福岡都市圏での「芦北フェア」を開催する。



◆都市農村交流イベントへの出店【相良村】

- 県内外を問わず、様々な機会での会員の出展や出品について働きかける。また、新規会員の加入に向けた募集案内活動を継続する。

◆あさぎり町の食の魅力発信に向けた情報発信【あさぎり町】

- 町内事業者や(株)あさぎり商社と連携し、都市部へ町の食の魅力を発信していくとともに、認知度の向上や販路の拡大を目指す。



歌舞伎座での物産
フェア開催@東京



新梅田食堂での物産
フェア開催@大阪

(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆八代産品の魅力発信と認知度向上【八代市】

- 市内の店舗での巡回型フェアを開催する。
(晩白柚・いずみ抹茶フェア、ちくワンドッグ等)
- フードバレーやつしろの魅力発信や認知度向上のためのイベントを開催する。



◆イベントの開催【人吉市】

- くまろんフェアを開催し、球磨栗の消費拡大や観光客の集客を図る。
(マンネリ化を防ぐため、イベント内容の見直し)

◆消費拡大の支援【水俣市】

- 食の魅力発信のためのイベント出展を支援する。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆ 芦北地域の食の魅力発信と地域活性化【芦北町】

- 「芦北伽哩街道」「放課後ていぼう日誌ぶらりメシ」を開催する。



◆ 地域の「食」の販路拡大に向けた情報発信支援【津奈木町】

- 地域産品の販路拡大と関係人口の構築を図るため、引き続き「つなぎふれあい祭り」の情報発信の支援を行う。



◆ 食事を通した「食」の魅力発信と観光客誘致【津奈木町】

- 1月からイタリアンのディナーコースの提供をスタートしたことで、これまで津奈木町では食べることのできなかつた食事を楽しめるようになり、食事を通して地元の旬の食材の魅力を発信していくとともに観光客誘致にも取り組む。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆チャレンジショップ開発商品のPR【錦町】

- 錦町と球磨中央高校との連携事業「チャレンジショップ事業」において、R5年度に開発した「いちごマッコリアイス」と「コーン茶アイス」の販売店舗を増やし、販路拡大を目指す。

◆特産品のPR【多良木町】

- 本町で11月に開催される「九州のお米食味コンクール」にて、参加者へ町の特産品のPR活動を実施する。

◆販路拡大の支援【水上村】

- 特産品の消費拡大、販路拡大のためのフェア及び消費喚起イベントを開催する。
- 都市圏での販路拡大や海外輸出を支援する。
- 特産品を使用した学校給食での地産地消事業を実施する。

◆農林水産物や特産品等の直売所の設置【球磨村】

- 地元の農林水産物や特産品等の直売所を設置する。

(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

【バイヤー向け商談会等の実施】

◆商談会、産地視察の実施(海外)【八代市】

- 本市の農林水産物の販路拡大を図るため、台湾、香港、シンガポールを中心としたアジア圏域での商談会等を開催する。

【台湾事業】

展示会等に出展し、バイヤーを招聘し、新たな商談の機会を創出する。



【シンガポール事業】

シンガポールへの本格的な輸出に向けて、現地でのバイヤーとの商談会を開催する。



【香港事業】

イオンストアーズ香港や味珍味、櫛杏等に対しこれまでの関係性を活かし本市の農林水産物の提案を行い、販路拡大を図る。



【バイヤー招聘】

香港、シンガポール等のバイヤーを招聘し、産地視察を実施し、輸出拡大に向けた取組を行う。



(3) アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

◆県内における商談会の開催【県】 **新規**

- 県南地域の農林畜水産物や加工食品等の県内における認知度向上及び販路拡大のため、県内に販売網を有するバイヤーを招聘し、フードバレー会員との商談会を開催する。



◆大規模展示商談会への出展支援【県】

- 大都市圏（大阪・福岡等）において開催される大規模展示商談会への県南地域の事業者の出展を支援する。



◆商談会、産地視察の実施（国内）【八代市】

- 本市の農林水産物の販路拡大を図るため、市内へのバイヤーやシェフ招聘や商談会を実施する。

【産地視察】

本市農林水産物の消費拡大・販路開拓を図るため、シェフ、バイヤー等を招聘し、産地視察を実施する。



【バイヤー等との商談会】

大手小売店等のバイヤーを招聘し、商談会を実施する。



【首都圏での商談会】

首都圏でシェフ・バイヤーを招聘し、試食商談会を実施する。



(4) 人材育成の強化・推進体制の構築

【人材育成】

◆フードバレー経営塾の開催【県】 重点方針2

- これまでよりさらに実践的なカリキュラムや企業視察を充実させた若手経営者等の育成のためのセミナーを開催するとともに、受講生・卒塾生による交流の機会を設け、新たなネットワークの構築を促す。



◆高校生等との連携【県】

- 県南地域を担う人材の育成を図ると共に、県南地域の新たな特産品となる新商品開発の芽を育てるため、専門家と連携して、県南地域の高校が行う商品開発を支援する。



(4) 人材育成の強化・推進体制の構築

◆農林水産体験事業の推進【八代市】

重点方針2

- 観光農園や収穫体験事業を実施する事業者を支援するため、専門家を招いての講座や勉強会を開催する。

【推進体制の構築】

◆イベント実行委員会の見直し及び他町村との連携【人吉市】

- 参加店舗や観光協会にもイベント実行委員会に参加してもらう。
- 郡部からの参加店舗も増えているので郡市一体となって取り組めるよう働きかける。

◆関係機関との広域連携による「食」の魅力発信と地産地消の推進【氷川町】

- 近隣市町村をはじめ、定住自立圏や県南広域本部と連携体制を構築し、合同でのイベント出展や物産展の開催を積極的に展開することで、氷川町および県南地域の「食」の魅力を強力に発信し、地産地消の推進と地域産品の更なる販路拡大を目指す。

